

スーパーカレッジ強歩



10月4日、今年度で3回目となるスーパーカレッジ強歩が行われ、学校から階上岳山頂までの約25kmの行程を徒歩で往復した。当日は、小雨の中を出発したが、山を登り始める頃には雨も止み、心地よい秋風を受けながらの登山となった。いざ登り始めると長い急勾配が続き、生徒達は音を上げそうになりながらも仲間と励まし合い一歩ずつ頂上を目指した。登頂すると高みからの眺望に次々に大きな歓声が上がった。仲間との団結力で得られた達成感と、一歩ずつでも継続することの意義を実感したようだった。また、下山途中のオートキャンプ場で、保護者の皆さんが差し入れてくれた豚汁が振舞われ、温かい気持ちのこもった味を満喫した。



10月29日、芸術鑑賞会が行われた。八戸市在住の榎谷伸夫氏主催の演劇集団「ごめ企画」による演目は、南部昔コー人語り、南部昔コ芝居、群読、日本舞踊（手話舞踊）と多彩だった。

聞く機会の少なくなった「正調南部弁」で語られた南部昔コ語りは、南部弁の響きに懐かしさを感じ、初めて経験する手話を交えた日本舞踊は、その仕草に込められた思いが伝わってきた。言葉も語り口もやさしく穏やかな南部の言葉を、決して無くしてはならないのだと感じさせる機会となった。日本舞踊は、披露して下さった方が本校の卒業生ということもあり、生徒達は見事な踊りを食い入るように見ていた。

二学年修学旅行



11月25日～29日、4泊5日の日程で修学旅行に行ってきた。初日は広島平和記念公園で、心を込めて織った千羽鶴を原爆の子の像に納め平和を祈念した。2日目は、世界遺産の厳島神社を見学。初めて見る多島海の美しい瀬戸内海に感動した。USJで若さをはじけさせ、3日目の大阪のなんばグランド花月では、チュートリアルや桂文珍、吉本新喜劇など本物の芸を堪能した。東大寺の南大門や大仏の見学では、日本の歴史的建造物の壮大さを実感。薬師寺では若い僧侶の講話に引き込まれた。最終日、小雨降る清水寺をめぐり、古都を後にした。生徒達にとって、西国・上方の文化に触れる貴重な機会となった。

第29回 美術コース 作品展



第29回美術コース作品展が、12月12日～14日、八戸ショッピングセンターラピ

アの1階と2階の催事場で開催され、美術コース生全学年97名が制作した作品190点が展示された。

1階には、卒業制作の制作現場を再現したブースを設置し、アトリエを切り取ったかのような空間に多くの買い物客が引き寄せられていた。また、展示した高校総合文化祭の最優秀作品や各種のコンクールで受賞した作品も興味深そうに見入っていた。2階は、3年生の卒業制作を展示し、100号サイズの油彩、日本画、デザイン、アニメーション、段ボールで造られた動物シリーズの家具等、各自の専攻分野で作られた作品が、来場者の目を楽しました。3日間の来場者は約950名。今回も盛況のうちに終了した。

陸前高田ボランティア

生徒会『K-0運動』スノードーム共同制作



この活動は、被災地陸前高田市の仮設住宅が0（ゼロ）になる日まで、継続して支援を行おうというボランティア活動で、本校美術コースの訪問を含め今回で6回目となる。

12月23日、生徒達は、同市の仮設住宅集会場でスノードームの共同制作を行った。一昨年はクリスマスリース、昨年はクリスマスキャンドルを制作し

て寄贈したが、今回はもっと違った形で仮設住宅の方々との交流ができないかと、スノードームを地元の方々と共に制作することになった。当日は、お年寄りや子どもら13名が集会場に集まり、生徒達と楽しく会話をしながらスノードームを作り上げた。制作後、震災の話聞くなど様々交流を深め、生徒達の方が逆に生きる力をもらう充実した行事となった。